

千刈狸の呟き

狸穴（まみあな）狸です。穴から抜け出し、狸酒場で同業者と愚痴をこぼしながら酒を飲んでいきます。

今日は、狸穴狸が所属する全国チェーン病院の北海道・東北ブロックの院長会議です。各狸病院は、150～300床前後の中規模病院がほとんどです。出てくる話題はただ一つ、どこもかしこも“医師不足”。

各病院からの愚痴を聞くとひどいものです。北海道の狸病院では、三個病棟（120床）の担当医が不在で、他科医師が分担して交代で診療しているとのこと。その狸院長は、昨年度32回医師のリクルートで、北海道各地、青森、仙台、東京、岡山等へ出向き230万円かかったそうです。この金を賄賂にして狸大学御殿へ持っていけば、一人や二人・・・!? いやいやそれはなるまいぞ。

青森県の狸病院では、40歳代のNICU担当の小児科医師が過労による脳出血で倒れ、さらに産婦人科と泌尿器科の科長が辞職したため患者数・手術件数が減り、黒字病院から赤字へ転落。

釜石の狸院長は、常勤医不足のためここ数年間週の半分以上当直しているとのこと。そのため、狸院長の中で給与はトップ（不名誉な記録!?）。

花巻の狸病院の院長は、狸チェーン病院事務部からうまいことを言われ九州からわざわざ来たものの、医師不足にびっくり。事務担当者が代わると、逆に、「おたくの病院の営業成績が悪い」と、手のひらを返されたような態度。頭にきて、辞職。その病院は現在、院長・副院長・臨床研究部長不在で公募中。果たして今度は、人が来るかどうか。

盛岡市内の狸病院は、ここ数年大赤字。周囲にライバル病院が多いため、患者を集められないのが原因。周りの病院では担当していない神経難病疾患の受け入れに活路を見出したいと準備中だが、肝心の神経内科専門医を集められず。その院長は仙台から来たばかりで、赤字病院では院長の給与も低いことを知らず着任。出身が秋田の為、狸穴狸病院に神経内科医師の応援依頼に来たものの、月2回の援助を続けるのが精々でした。

仙台市内にある狸病院では、麻酔科医が給与アップを希望。300万円アップは、全国狸チェーン

～ 医師不足 ～

狸 穴 狸

病院規則ではどうにもならず、その麻酔科医は狸病院を辞め非常勤医師としてそのまま同じ病院と再契約。給与は非常勤医として今までの倍額となり、300万円惜しんだばかりにその十倍近い持ち出しとなったそうだ。他に麻酔科医を探したが、簡単には見つからず、このような結果。

この狸穴狸病院も数年前、狸御殿のご意向で人工関節手術用に無菌手術室等を2億円かけて作ったものの、狸御殿の風向きが変わり一度も手術することなく、その後整形外科医が四人・麻酔科医一人が辞職、外来もその後まもなく狸御殿からの派遣が無くなりました。外部の見学者からは、こんな田舎に相応しくないほどの立派な手術室だとお褒めいただくものの、その後使われないまま年々風化し、いまや物置となっております。2億円どうしてくれるんじゃ!! 2億円で、物置一つ!? 手術台・无影灯その他備品、ガレージセール格安販売中です。

昨年の大震災の被災地病院では、医師不足に加えてさらなる問題があるようです。

いわき市の狸病院は海から近く、津波発生により一階が水没。患者・職員は二階に避難し無事でしたが、病院機能が全滅のため全員が関東地方の某狸病院へ避難。その後全員戻ったものの、今後の津波の事を考えると同じ場所で診療を続けていく訳にはいかず、高台へ移転予定。東京電力から受け取った補償金は、今のところ2,000万円のみとのこと。山元町では、狸病院の近くのJR駅舎と線路が津波で流出し常磐線が普通。そのため、医師・看護師確保がさらに困難になっており、住民人口も震災後減少。当然、患者数も減少。今回、敷地内に町営住宅建設を要請されたようです。確かに病院の敷地はある程度広いものの、提供する土地代・補償問題等で院長は悩んでおりました。

ひどい話ばかりですみません。一体こんな状況に誰がしたのでしょうか？右を向いても左を見ても、真っ暗闇じゃあございませぬか。狸はつらいよ。

すっかり酔いました。トボトボと一升徳利を引きずりながら、狸穴へ戻ります。お休みなさい。